

東村山 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 新井 聡子 小原 千明

使用教科書：（音楽 I Tutti+ 教育出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。また音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	・オリエンテーション 「音楽の基礎知識を身に付けよう」	・楽典 読譜や音楽の基礎的な知識の学び直し。 教材：高校生のための音楽研究ノート、一人一台端末の活用			○		【知・技】楽譜を読むために必要な力や基礎的な知識を習得し、理解している。 【思】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、音楽表現との関わりについて考えている。 【態】音楽のテクスチャに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・歌唱 「歌詞とメロディの関わり」	・校歌 ・日本歌曲「この道」他 学校や地域の歴史、背景について言葉のもつ音程と旋律との関わり	○				【知・技】曲にふさわしい発声や発音を身に付け、演奏に生かしている。 【思】歌詞の語感を感じ、旋律との関わりを理解して豊かな響きで演奏している。 【態】旋律や伴奏、歌詞に関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・器楽 フォークギター 「コードで弾き語りをしよう」	・コードでの弾き語り 「カントリーロード」他 TAB譜の読み方や、コードの仕組み	○	○			【知・技】楽器の仕組みや奏法を理解し、TAB譜を自分で読み取る力を身に付けて演奏している。 【思】曲調にふさわしい奏法や音色で表現している。 【態】ギターの豊かな響きや美しい音色を追求し表現しようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	・歌唱 「ドイツ語の歌を歌おう」 ドイツ語の発音、歌詞の意味を理解し表現する	・ドイツ歌曲、イタリア歌曲 ・二部合唱 リズムや音程、ハーモニー	○				【知・技】曲にふさわしい発声や発音を身に付け、演奏に生かしている。 【思】歌詞の語感を感じ、旋律との関わりを理解して豊かな響きで演奏している。 【態】旋律や伴奏、歌詞に関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	・器楽 「キーボードを演奏しよう」 「ボディパーカッション」	・キーボード連弾 「リズムののって」他 両手で演奏 指くぐり、指越え、指替え ・ブリマスロック他		○	○		【知・技】楽器の仕組みや奏法を理解し、楽譜を自分で読み取る力を身に付けて演奏している。 【思】アンサンブルでの役割を理解し、曲調にふさわしい奏法や音色で表現している。 【態】仲間と共に主体的・協働的に表現しようとしている。	○	○	○	10
	・鑑賞 「オーケストラ入門」 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	・楽器の音色や特徴 ・バレエ音楽「ボレロ」 ・映画「アマデウス」			○		【知・技】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞できている。 【思】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり方について意見を交換するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合うことができている。 【態】音楽を形づくっている要素に注目しながら、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3 学 期	・鑑賞 「様々な声の音楽の魅力」 世界の様々な声の音楽を鑑賞し、音楽文化の多様性についての理解する	・世界の音楽めぐり アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北米の地域の諸民族の声			○		【知・技】世界の諸民族の音楽の特徴や、楽曲の文化的歴史的背景を理解している。 【思】音色や速度・旋律やを感じ取り、楽曲の構造との関わり合いを表現している。 【態】世界の文化の共通性や固有性に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	・器楽 「箏を演奏しよう」	・箏曲「さくら」他 ・箏の歴史や奏法について ・日本の伝統音楽や文化について ・創作「さくら」アンサンブル	○	○	○		【知・技】楽器の仕組みや奏法を理解し、縦譜を自分で読み取る力を身に付けて演奏している。 【思】曲調にふさわしい奏法や音色で表現している。 【態】箏の豊かな響きや美しい音色を追求し表現しようとしている	○	○	○	12 合 計 70

東村山 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （ 12組：大河原） （ 56組：大河原）

使用教科書： （ 教育図書 「書 I」 ）

教科 書道 I の目標：

【知識及び技能】 ・書の見方や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の臨書を通して書的美を理解し、書表現や作者に対する理解力を身につける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。

【学びに向かう力、人間性等】 ・書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

科目 書道 I の目標：

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書道 I の目標	書の見方や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身につける。	書道 I の目標 ・古典の臨書を通して書的美を理解し、書表現や作者に対する理解力を身につける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。	書道 I の目標 ・書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	記 時 数	
			漢 仮	漢	鑑 賞						
1 学 期	<p>筆道の正しい知識を身に付け、古典の各表現に合わせた道具などの使い方を適切に考える。</p> <p>漢字の書写とさまざまな書</p> <p>【知識及び技能】 中国の文字と書の背景と文化、楷書の書風の変遷、各古典に特有の個性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】楷書の古典の個性に対応した用筆・運筆、字形、全体の構成について考え工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 【鑑賞】漢字の書風の個性や、その背景にある歴史、文化に興味をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞に関する学習に取り組む姿勢が見える。</p>	<p>書写から書道へ 中学書写と高校書道の相違点 漢字の変遷とさまざまな書体</p>				<p>漢字の変遷とさまざまな書体</p> <p>【知識及び技能】 中国の歴史と書の伝統と文化、背景、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や個性について理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】楷書の古典の書体や書風に対応した用筆・運筆、字形、全体の構成について考え工夫していること。 【学びに向かう力、人間性等】 【鑑賞】漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞活動に取り組もうとしていること。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					2
	<p>2. 楷書の造形、個性を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】 【表現】中国各種書の書体、書風について理解する。 【鑑賞】各種書の隷質、字形、表情等から受ける印象について理解する。 各種書の技術を生かした表現を身につける。 【思考・判断・表現】 【表現】各種書の個性について考え、各書の実しさを捉えまた表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら楷書表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとする。 【鑑賞】自ら漢字楷書の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>2. 楷書の造形を学ぶ 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 初唐の三大家の比較</p>				<p>【知識及び技能】 【表現】中国各種書の書体、書風について理解していること。 【鑑賞】各種書の隷質、字形、表情等から受ける印象について理解していること。 各種書の技術を生かした表現を身につけていること。 【思考・判断・表現】 【表現】各種書の個性について考え、各書の実しさを捉えまた表現できていること。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら楷書表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとしていること。 【鑑賞】自ら漢字楷書の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとしていること。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					18
	<p>2. 文字の造形を学ぶ【行書】</p> <p>【知識及び技能】 【表現】行書の古典の書体や書風、背景と表現との間わりについて理解する。 【鑑賞】隷質、字形、構え等と表現の間わり、中国や日本の行書と書文化について理解する。 各行書の古典の美、個性を理解する。 【思考・判断・表現】 【表現】行書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫する。行書のリズム、流れで全体を表現する。 【鑑賞】各行書の個性、個性について考え、各行書の実しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら行書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとする。 【鑑賞】自ら行書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>2. 行書の造形を学ぶ 蘭亭序 争坐位文稿 風信帖 蘭亭序と風信帖の比較</p>				<p>2. 文字の造形を学ぶ【行書】</p> <p>【知識及び技能】 【表現】行書の古典の書体や書風、背景と表現との間わりについて理解していること。 【鑑賞】隷質、字形、構え等と表現の間わり、中国や日本の行書と書文化について理解していること。 各行書の古典の美、個性を理解していること。 【思考・判断・表現】 【表現】行書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫していること。行書のリズム、流れで全体を表現する。 【鑑賞】各行書の個性、個性について考え、各行書の実しさを味わっていること。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら行書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとしていること。 【鑑賞】自ら行書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしていること。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					14
2 学 期	<p>2. 草書・隸書・篆書の造形を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】 【表現】草書・隸書・篆書の歴史的背景や、用筆・運筆など造形を理解して表現する。 【鑑賞】三体それぞれの特徴や、各書体に固有の造形や線質の細やかな特徴を理解する。 草書・隸書・篆書の古典の特徴を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】草書・隸書・篆書の古典の個性に合致した技術に基づいてよく試行し工夫する。 【鑑賞】草書・隸書・篆書の古典の歴史的背景と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら草書・隸書・篆書の書の表現学習に愛をもって取り組もうとする。 【鑑賞】自ら草書・隸書・篆書の書の鑑賞活動に取り組もうとする。</p>	<p>2. 文字の造形を学ぶ 【草書/隸書/篆書】 真草千字文 曹全碑 泰山刻石</p>				<p>2. 草書・隸書・篆書の造形を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】 【表現】草書・隸書・篆書の歴史的背景や、用筆・運筆など造形を理解して表現していること。 【鑑賞】三体それぞれの特徴や、各書体に固有の造形や線質の細やかな特徴を理解していること。 草書・隸書・篆書の古典の特徴を生かした表現を身につけていること。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】草書・隸書・篆書の古典の個性に合致した技術に基づいてよく試行し工夫していること。 【鑑賞】草書・隸書・篆書の古典の歴史的背景と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取っていること。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら草書・隸書・篆書の書の表現学習に愛をもって取り組んでいること。 【鑑賞】自ら草書・隸書・篆書の書の鑑賞活動に取り組んでいること。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					14
	<p>仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 【表現】漢字仮名交じりの書について理解したうえで表現すること。 【鑑賞】漢字の書と異なった、漢字仮名交じり文の造形について理解すること。 漢字と仮名を調和させて表現する技術を身につけていること。 【思考・判断・表現】 【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。 【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、実しさを味わっていること。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。 【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。</p>	<p>2. 創作する 好きな言葉や文を書く 漢字仮名交じり文と日本語表記 日常の表現</p>				<p>仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 【表現】漢字仮名交じりの書について理解したうえで表現していること。 【鑑賞】漢字の書と異なった、漢字仮名交じり文の造形について理解していること。 漢字と仮名を調和させて表現する技術を身につけていること。 【思考・判断・表現】 【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。 【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、実しさを味わっていること。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。 【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					4
	<p>【知識・技能】 【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫する。 【鑑賞】日本独特の書である仮名と物語や日記などの文化の間わりを理解している。仮名の細やかな技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現している。 【鑑賞】仮名の古筆の個性とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に愛をもって取り組む。 【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組む。</p>	<p>1. 仮名の成立と種類、時代 2. 文字の造形を学ぶ 仮名の筆使い 平仮名 単体 連続 変体仮名 蓬葉切 高野切三種</p>				<p>【知識・技能】 【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫している。 【鑑賞】日本独特の書である仮名と物語や日記などの文化の間わりを理解している。仮名の細やかな技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力】 【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現されている。 【鑑賞】仮名の古筆の個性とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に取り組もうとしている。 【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組もうとしている。 提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					18
										合 計	70

